

大崎の自然を感じよう！～レンタサイクル事業開始



▲豊かな自然を感じながら観光できます

1月22日（金）、町から㈱あすばる大崎に対し観光レンタサイクル用自転車が贈呈され、その贈呈式が広域交流活性化センターあすばる大崎で行われました。

これは、観光客らから「周辺を散策するための自転車があれば便利なのに。」とレンタサイクルの要望が多数寄せられたことを受けて、町と㈱あすばる大崎が協力し、廃棄自転車4台を修理・再利用を行い、無料貸し出しを始めることにしたものです。

贈呈式では、東條副町長と㈱あすばる大崎の山下支配人へと自転車が渡されました。

みんなで『理想の野方』を話し合う～地域づくりモデル事業

1月28日（木）、野方農村環境改善センターにおいて、野方公民分館の住民を対象とした『目指していききたい地域像を語る会』が開催されました。

野方公民分館では、県が提唱する『地域コミュニティづくり重点推進モデル事業』を、平成26年度から取り組んでおり、これまでも茶話会をとおして『野方』について意見を出し合ってきました。

今回は、『どんな野方になったらよいか』というテーマに対し、「みんなが顔見知りになれて助けあえる地域にしたい。」「高齢者が活躍できる社会にしたい。」などみんなで目指したい野方地区について、活発な意見交換が行われました。



▲理想の野方について討論する様子

あすばる大崎にかわいい雛飾り～吊るし雛・飾り雛



▲雛飾りは4月15日まで展示されます

広域交流活性化センターあすばる大崎の1階ロビーに色鮮やかな雛飾りが展示されました。

これは、おおさきグリーン・ツーリズム推進協議会の龍相いさ子さん（後迫）が中心となり、女性会員11名と3か月間かけて製作しました。40連にもなる吊るし雛は全て手作りで、ナスやウサギなどの飾りには、無病息災の願いが込められています。

龍相さんは、「町興しの一環で毎年取り組んでいます。昔ながらの雛飾りに癒されてほしい。最低でもあと10年は頑張ります。」と笑顔で話しました。